

## &lt;白金標準、2008年の高値7584円に迫る値動き・・・&gt;



(出所：オアシス)

トランプ大統領は医薬品に対して100%の関税を課すと発表している。特に半導体、医薬品の他に重要鉱物に対する関税も控えている。特に8月にシルバーが重要鉱物に指定されると上昇が始まっている。既にプラチナとパラジウムは2022年に重要鉱物の指定を受けており、依然とNYマーカンタイル取引所のプラチナ指定倉庫は25日現在で18.9トンまで増加を続けている。特に25日で重要鉱物に対する企業からの意見を聞く30日間のパブリックコメントを終えており、何時でも関税に対する発表が聞かれてもおかしくないと思える。また金価格に比べ割安感が強い白金価格だけに、需給を左右する要因には大きく反応する値動きを見せている。特にNY白金は、1500ドルを超えると中心限月が1月限に変化した事から1600ドルを超える値動きを見せており、円建て価格の白金標準先物を押し上げている。その白金標準先物は、週末には7248円まで高値を試し、18日の安値6101円から短時間で1147円の上昇を行っている。特に過去の高値が2008年に付けた7584円が存在する。その価格差が336円まで迫るなど今週中に試す可能性は高まっていると思え、安易な売り狙いは避けた方が良いと思える。

## &lt;テクニカル&gt;

白金標準先物の週足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルも切り上げている。またRCIでは短期が長期は上回り、短期と長期が横ばいするなど強気を維持していると思え、高値追いが継続中に思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に關し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,955,000 円(2025 年 9 月 29 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあります。その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2025 年 9 月 29 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引に

についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間: 平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あつせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター

<https://www.nisshokyo.or.jp>